

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

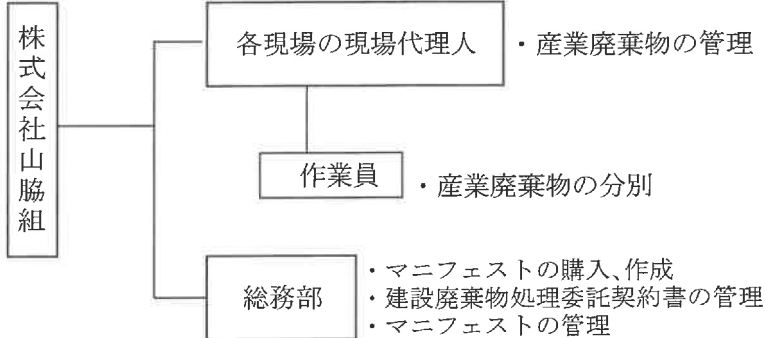
産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月24日	
秋田県知事 殿	
提出者	
住所 秋田県湯沢市北荒町2番14号	
氏名 株式会社 山脇組	
代表取締役 山脇 幹	
電話番号 0183-73-3201	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 山脇組
事業場の所在地	秋田県湯沢市北荒町2番14号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D建設業 06総合工事業
② 事業の規模	592,991千円
③ 従業員数	32人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物の発生→自社又は委託業者による廃棄物の運搬→廃棄物中間処理場又は最終処分場



（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	3,138 t	t
	（これまでに実施した取組） ・工法の検討をし、排出量を抑えるよう努める。 ・産業廃棄物の分別を徹底する。 ・材料納入時、梱包材の簡易化に努める。 ・現場内で発生した産業廃棄物の再生利用を心掛ける。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	1,220 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・工法の検討をし、排出量を抑えるよう努める。 ・産業廃棄物の分別を徹底し、リサイクルできるよう適正に処理する。 ・現場内で発生した産業廃棄物の再生利用を心掛ける。 ・端材が発生しないよう計画的な材料発注をするよう努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、木くず、廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、金属くず、廃石膏ボード、紙くず、その他がれき類、混合、水銀使用製品 種類ごとに分別する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、木くず、廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、金属くず、廃石膏ボード、紙くず、その他がれき類、混合、水銀使用製品 種類ごとに分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	3,138 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,563 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,034 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・優良認定処理業者を活用する。 ・リサイクル可能な産業廃棄物は再生利用業者に委託する。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	1,220 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	862 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,152 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き ・優良認定処理業者を活用する。 ・リサイクル可能な産業廃棄物は再生利用業者に委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(別紙 第2面)

前年度(令和6年度)実績

①現状

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
排出量(t)	2,810	57	65	23	9

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	廃石綿等
排出量(t)	2	128	22	10	2

産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	合計
排出量(t)	10	3,138

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
排出量(t)	800	300	100	2	1

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず
排出量(t)	1	2	5	5	1

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	混合(管理型)	合計
排出量(t)	1	2	1,220

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(別紙 第4面)

前年度(令和6年度)実績

①現状

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	繊維くず
全処理委託量(t)	2,810	57	65	23	9	2
優良認定処理業者への処理委託量(t)	1,447	50	30	13	9	2
再生利用業者への処理委託量(t)	2,810	57	30	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量(t)	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	—	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	混合(管理型)	廃石綿等	合計
全処理委託量(t)	128	22	10	10	2	3,138
優良認定処理業者への処理委託量(t)	—	—	9	3	—	1,564
再生利用業者への処理委託量(t)	128	—	9	—	—	3,034
認定熱回収業者への処理委託量(t)	—	—	—	—	—	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	—	—	—	—	—	0

(別紙 第5面)

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	繊維くず
全処理委託量(t)	800	300	100	2	1	1
優良認定処理業者への処理委託量(t)	600	200	50	2	1	1
再生利用業者への処理委託量(t)	800	300	50	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量(t)	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	—	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず	水銀使用製品	混合(管理型)	合計
全処理委託量(t)	2	5	5	1	1	2	1,220
優良認定処理業者への処理委託量(t)	—	—	5	1	—	2	862
再生利用業者への処理委託量(t)	2	—	—	—	—	—	1,152
認定熱回収業者への処理委託量(t)	—	—	—	—	—	—	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	—	—	—	—	—	—	0